

## 【保幼小研修会】

國學院大學人間開発学部子ども支援学科 准教授 吉永 安里 先生 (6/24)

### 「保幼小連携・接続を考える

～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿『言葉による伝え合い』を手がかりに～

- ・データでみることで主体的に学ぶことの大切さに納得することができました。
  - ・子どもたちの『やってみたい』という気持ちを実現できるようにしていきたいです。
  - ・主体的に学ぶことの大切さを感じ、それを大事に指導をしていきたいと思いました。
  - ・子どもたちを同じ目線で見られることから連携がスタートしていくのだと感じることができました。
- ※ 幼児教育に携わる先生、小学校の先生、共にこのような感想を多くいただきました。

※2月10日(金)には【保幼小連携全体会】塩崎政江先生「接続期に考えよう 子どもの学び・育ちをつなぐ」を予定しております。

## 【保幼小連携地区ブロック研修会】

保幼小連携地区ブロック研修会では、『幼児期の終わりに育ってほしい10の姿』を手掛かりに話し合いをしてきました。代表校園所の先生方には大変お世話になりました。

- ・地域の園や学校の様子・取組が分かり、情報共有ができる良い機会になりました。
- ・具体的な子どもの姿を通して話し合うことで、遊びの中の学びと小学校の学びにつながりがあることが分かりました。
- ・遊びを土台とする幼児期の学びについて認識を新たにできました。
- ・幼児教育でも学校でも、評価の仕方が違うだけで、目指す子ども像は同じであるということが確認できました。
- ・アドバイザーの話が大変勉強になり、今後の保育・授業に生かしたいと思いました。
- ・今後は、保育・授業の参観や、子ども同士の交流などができると良いと思います。

## みつけた！楽しい作品☆

「みつけた！楽しい作品！」では、いろいろな園所で見つけた子どもたちの作品などを紹介させていただきます。今回は、いしい幼稚園でみつけた楽しい作品を紹介します。



【にんじゃやしき】



【わたあめ屋さん】



【あくせさいーやさん】



ある写真に写っていたパッチワークを見たことをきっかけに、「手裏剣みたいだね」などと会話が生まれ、手裏剣作りが始まり、その手裏剣で写真を再現していくうちに、忍者遊びや忍者屋敷作りなどの遊びに発展していったそうです。

このクラス（年長）の保育室には、他にも子どもたちの作ったものがありました。すぐに遊びだせるような環境の構成がされており、作ったもので遊びながらグレードアップしていく様子が見られました。

子どもたちの自由な発想や、保育者が見守りながら子どもたちの「やりたい！」という思いを支えている様子が印象的でした。